

## 令和3年度「要保護児童対策地域協議会における「ヤングケアラー」に係る情報把握及び対応について」の調査結果【概要版】

### 【調査目的】

昨年度に引き続き、福岡県内の市町村の要保護児童対策地域協議会において、ヤングケアラーがどのようにとらえられているかを把握するとともに、実際に把握されているヤングケアラー個々のケースの実態を知るため、アンケート調査を行う。

### 【定義】

年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負って、本来、大人が担うような家族の介護（障がい・病気・精神疾患のある保護者や祖父母への介護など）や世話（年下のきょうだいの世話など）をすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている 18 歳未満の子ども

※令和元年7月4日付子家発 0704 第1号「要保護児童対策地域協議会におけるヤングケアラーへの対応について」から抜粋



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

### 【調査方法】

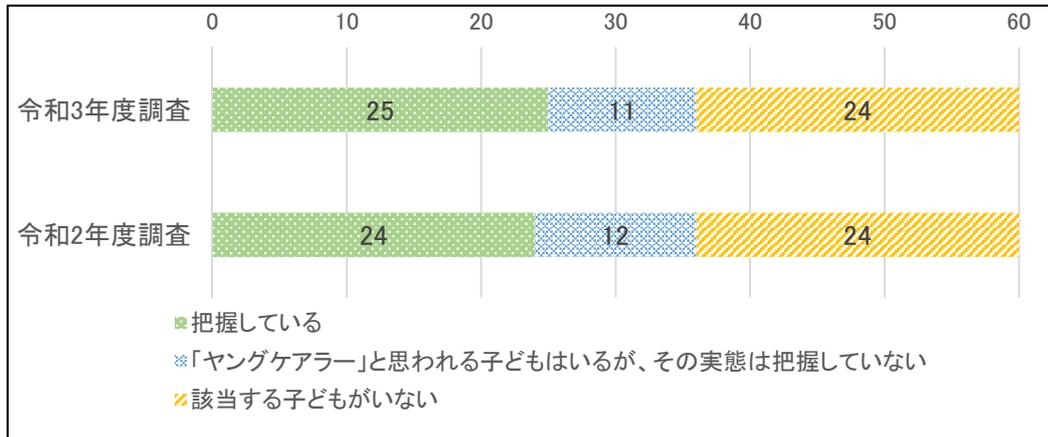
県内 60 市町村の要保護児童対策地域協議会に対しメールで調査票を配布、メールにて回収

- ◆調査時点：令和3年10月1日
- ◆調査期間：令和4年1月13日～令和4年2月10日
- ◆回収状況：60市町村から回収（回収率100%）
- ◆収集ケース数：163件

## 主な調査内容

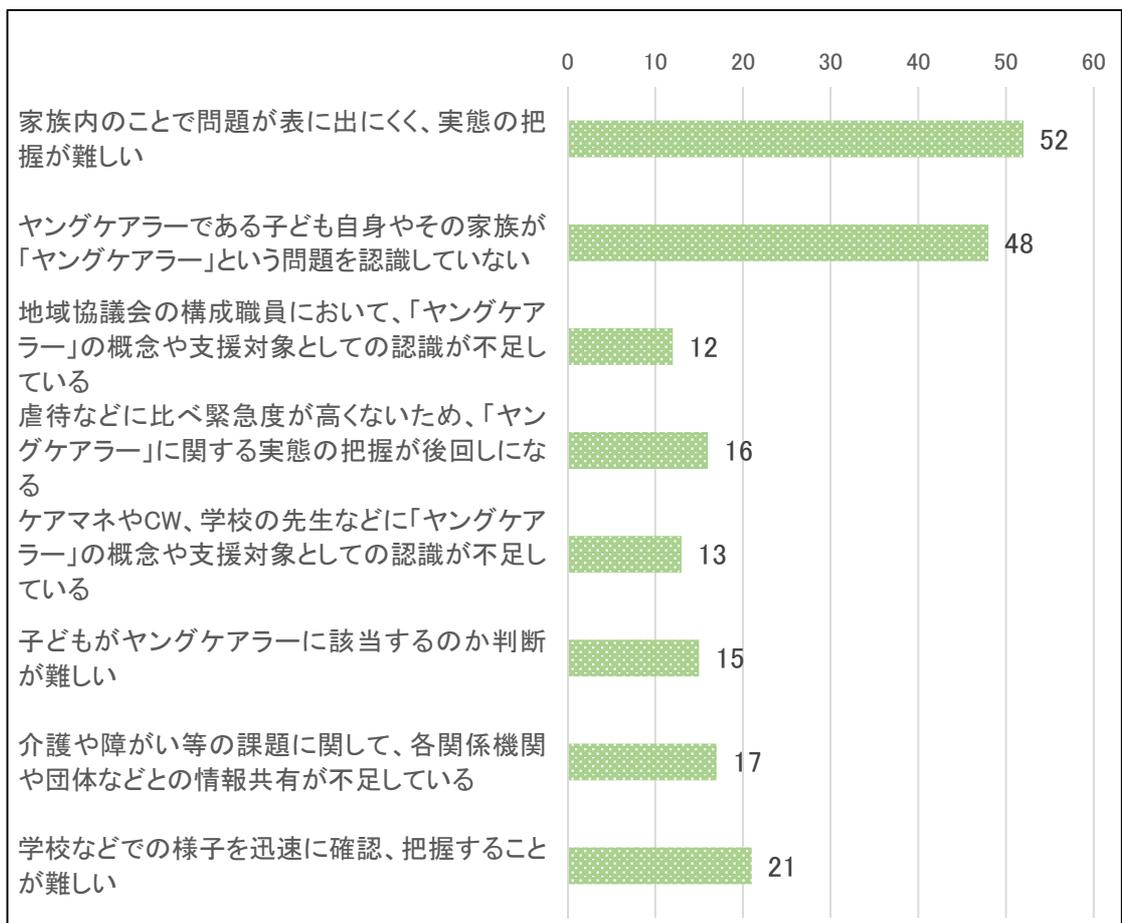
### 1 市町村の状況

#### ① 「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態に係る把握状況 (n=60 市町村)

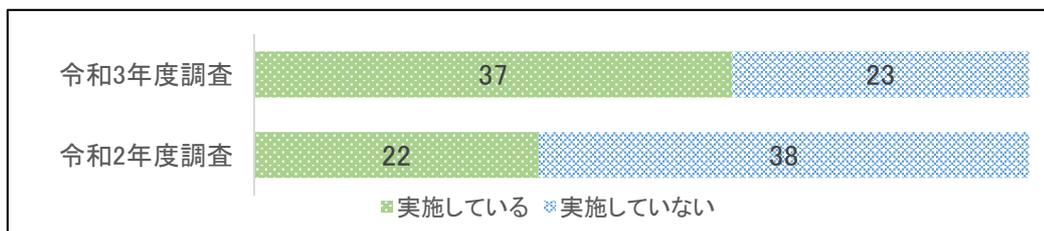


#### ② 「ヤングケアラー」である可能性を早期に確認する上での課題 (新規項目)

(複数回答) (n=60 市町村)

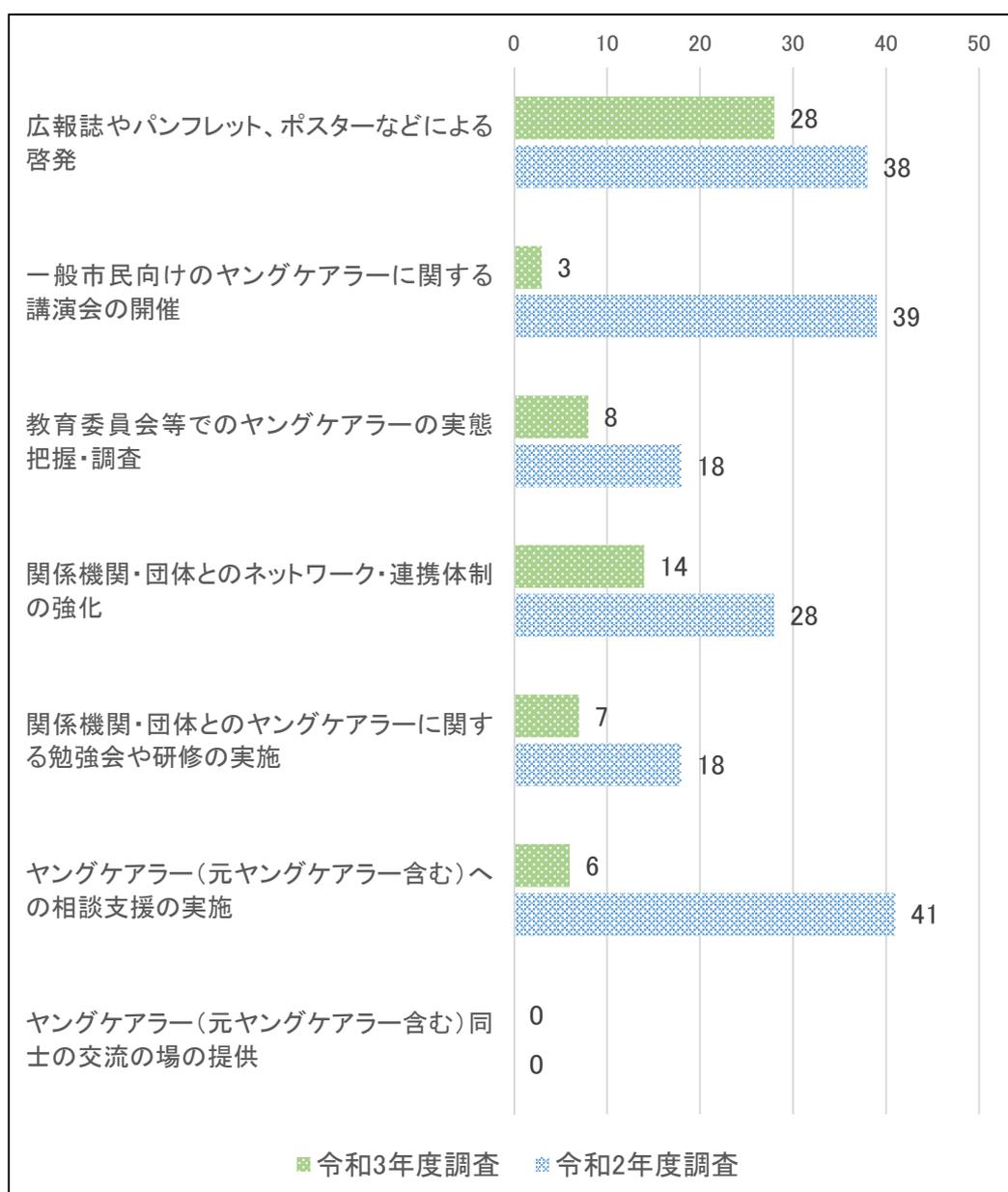


③ ヤングケアラーに関する取組の有無（n=60 市町村）



④ ヤングケアラーに対する取組みの状況（複数回答）（n=60 市町村）

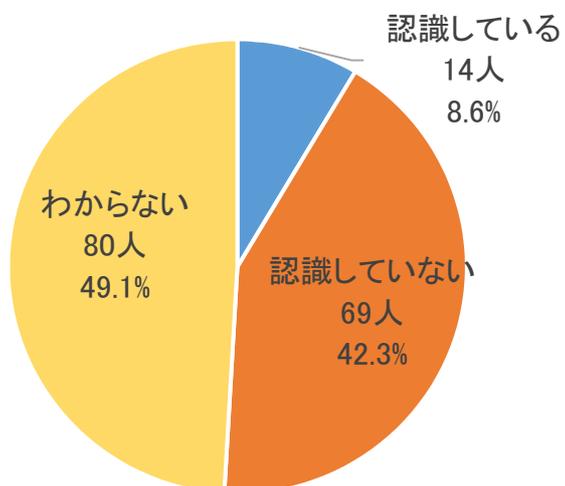
※令和2年度調査の値には、取組中のものに加え、取組を検討しているものも含む



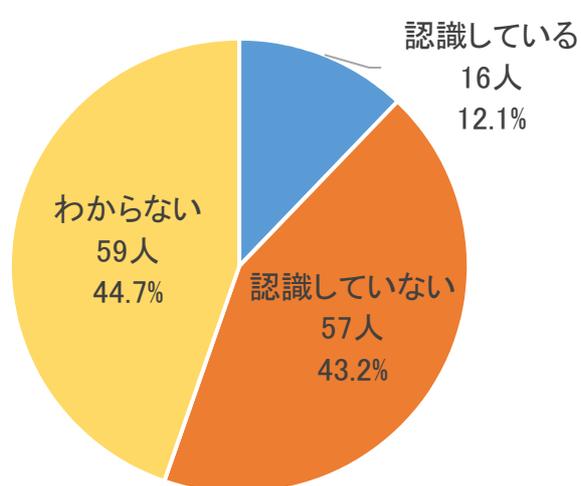
## 2 把握するケースの状況

### (1) 子ども自身の「ヤングケアラー」の認識の有無

令和3年度調査(n=163ケース)



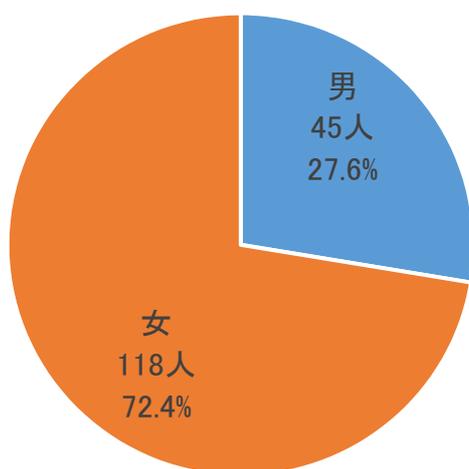
令和2年度調査(n=132ケース)



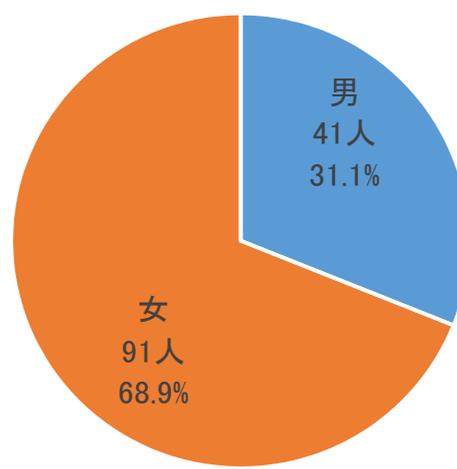
### (2) 「ヤングケアラー」の状況

#### ① 性別

令和3年度調査(n=163ケース)

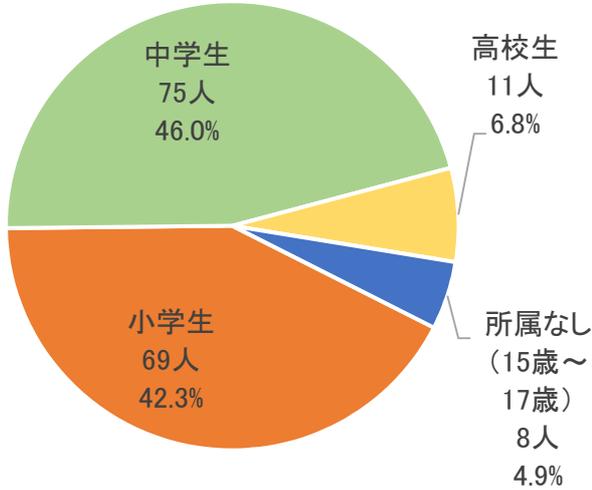


令和2年度調査(n=132ケース)

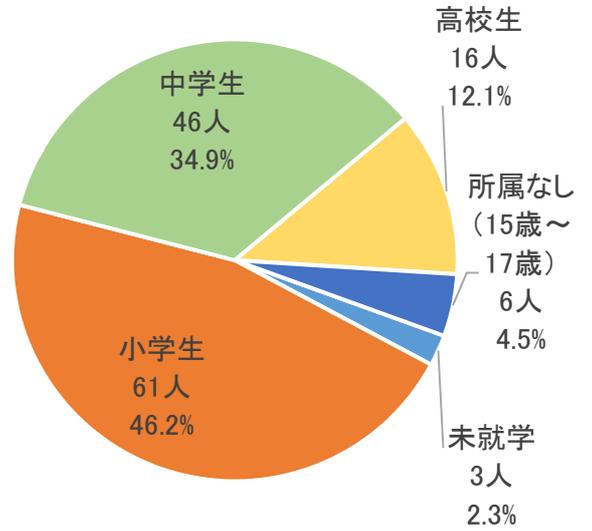


② 学年

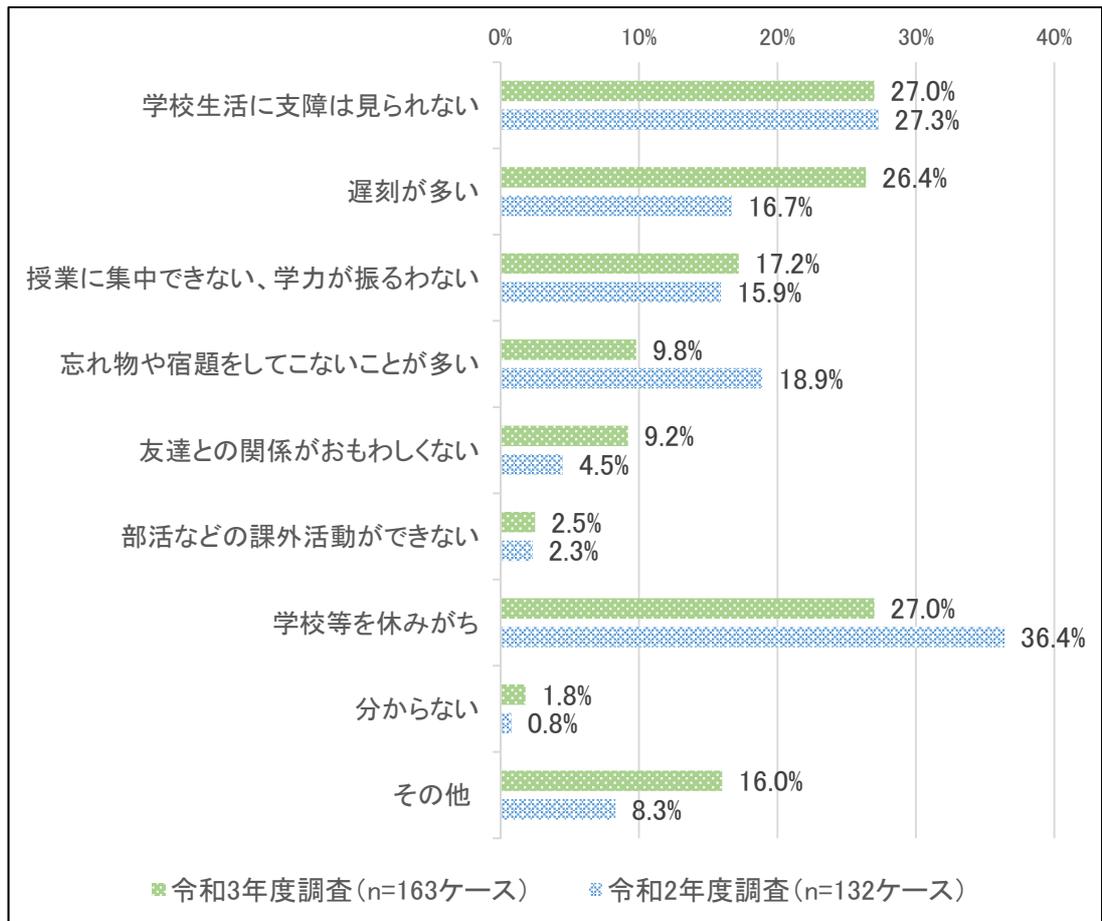
令和3年度調査 (n=163ケース)



令和2年度調査 (n=132ケース)

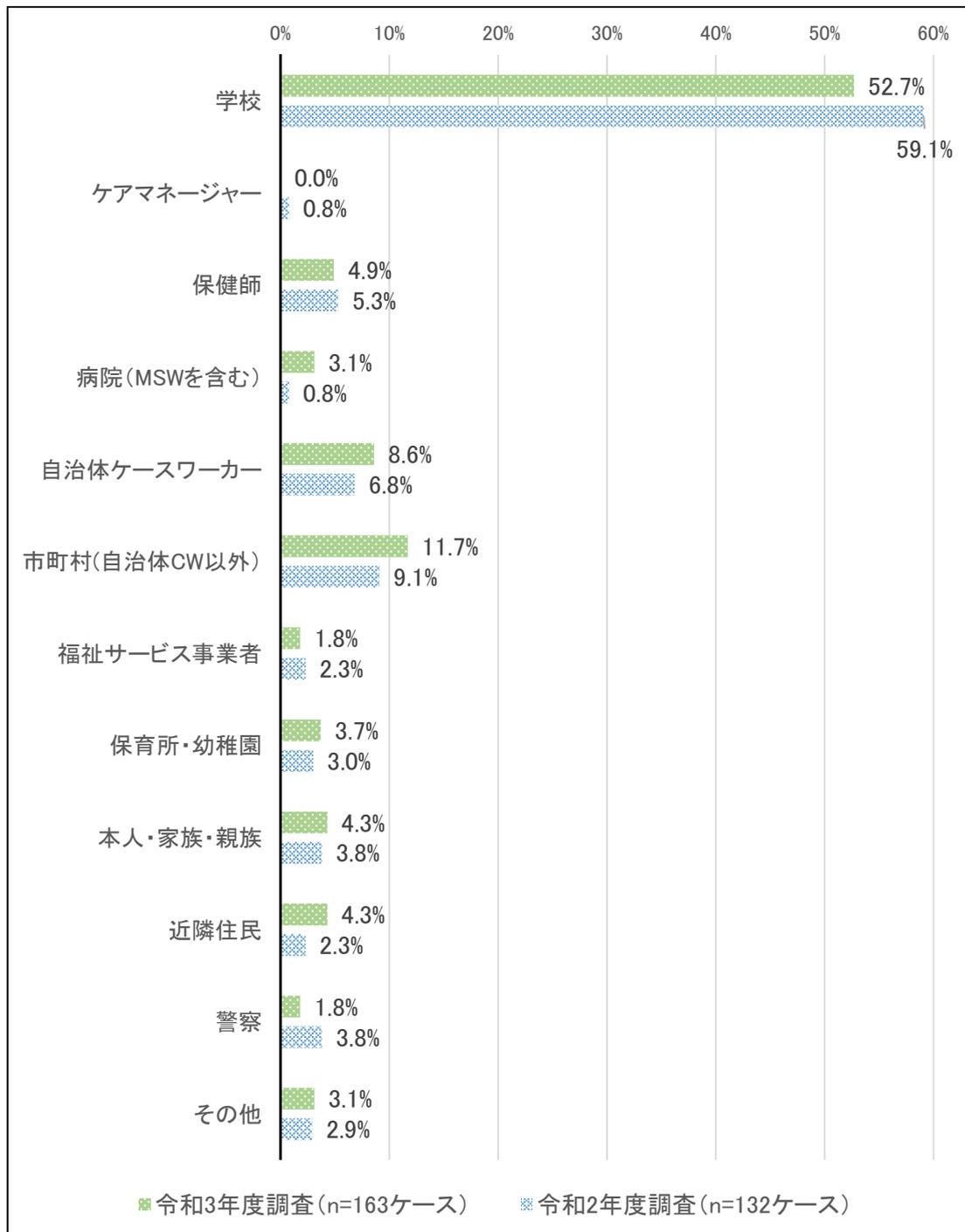


③ 学校生活への影響 (複数回答)



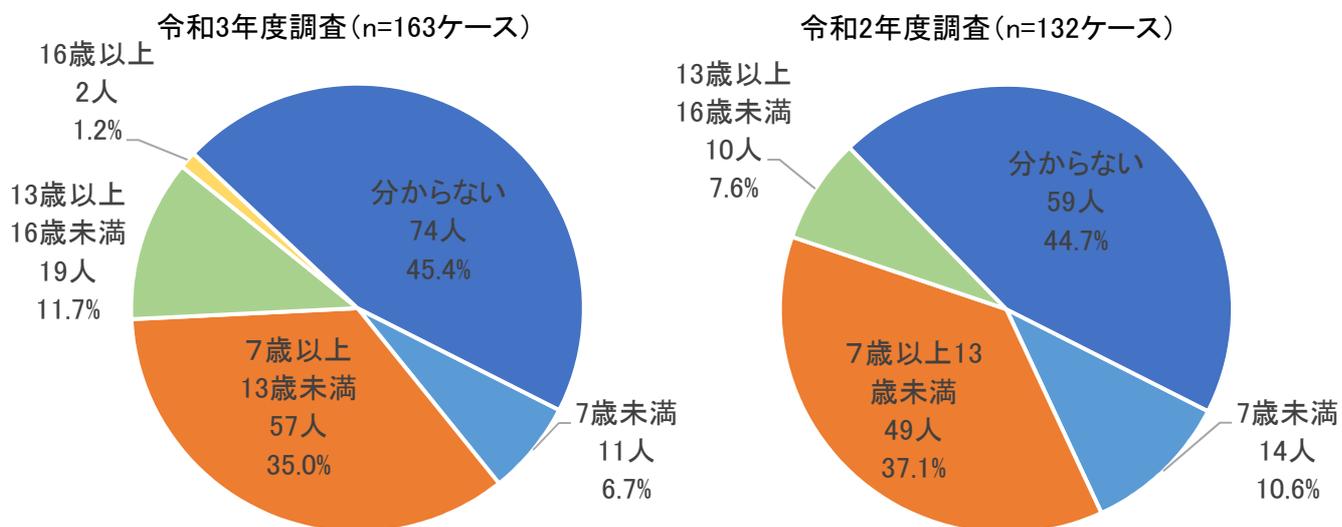
その他の主な内容：高校に進学できなかった、高校中退、情緒不安

(3) 市町村でヤングケアラーを把握（発見）した経緯



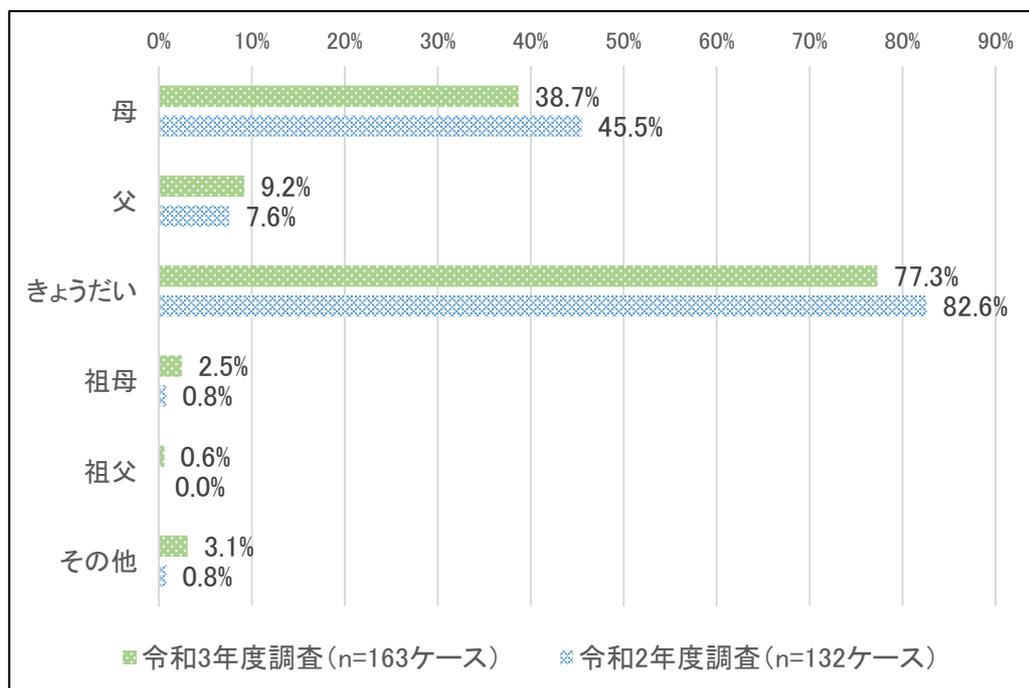
その他の内容：児童福祉施設、地域民間団体

(4) ケアの開始時期



(5) 子どもがケアを行っている状況 (複数回答)

① ケアの対象者



その他の主な内容：甥、姪

<参考>>学年別ケアの内容（令和3年度調査、複数回答）（単位：％）

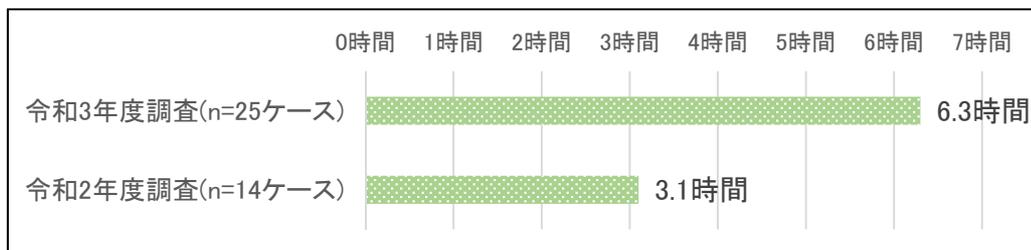
	食事の世話	家事	身の回りの世話	トイレや入浴の介助	見守り	感情面のケア	きょうだいのケア	通院の付き添い	通訳	金銭管理	その他
全体(n=163)	31.3	47.9	54.6	14.7	31.3	17.8	57.1	11.7	0.6	2.5	12.9
小学生(n=69)	27.5	43.5	49.3	14.5	29.0	14.5	59.4	4.3			11.6
中学生(n=75)	30.7	46.7	61.3	17.3	30.7	14.7	57.3	13.3	1.3	2.7	12.0
高校生(n=11)	36.4	45.5	45.5		45.5	36.4	45.5	27.3		9.1	27.3
所属なし(n=8)	62.5	100	50.0	12.5	37.5	50.0	50.0	37.5		12.5	12.5

<参考>>ケアを行っている対象者別 要介護・障がい等の有無

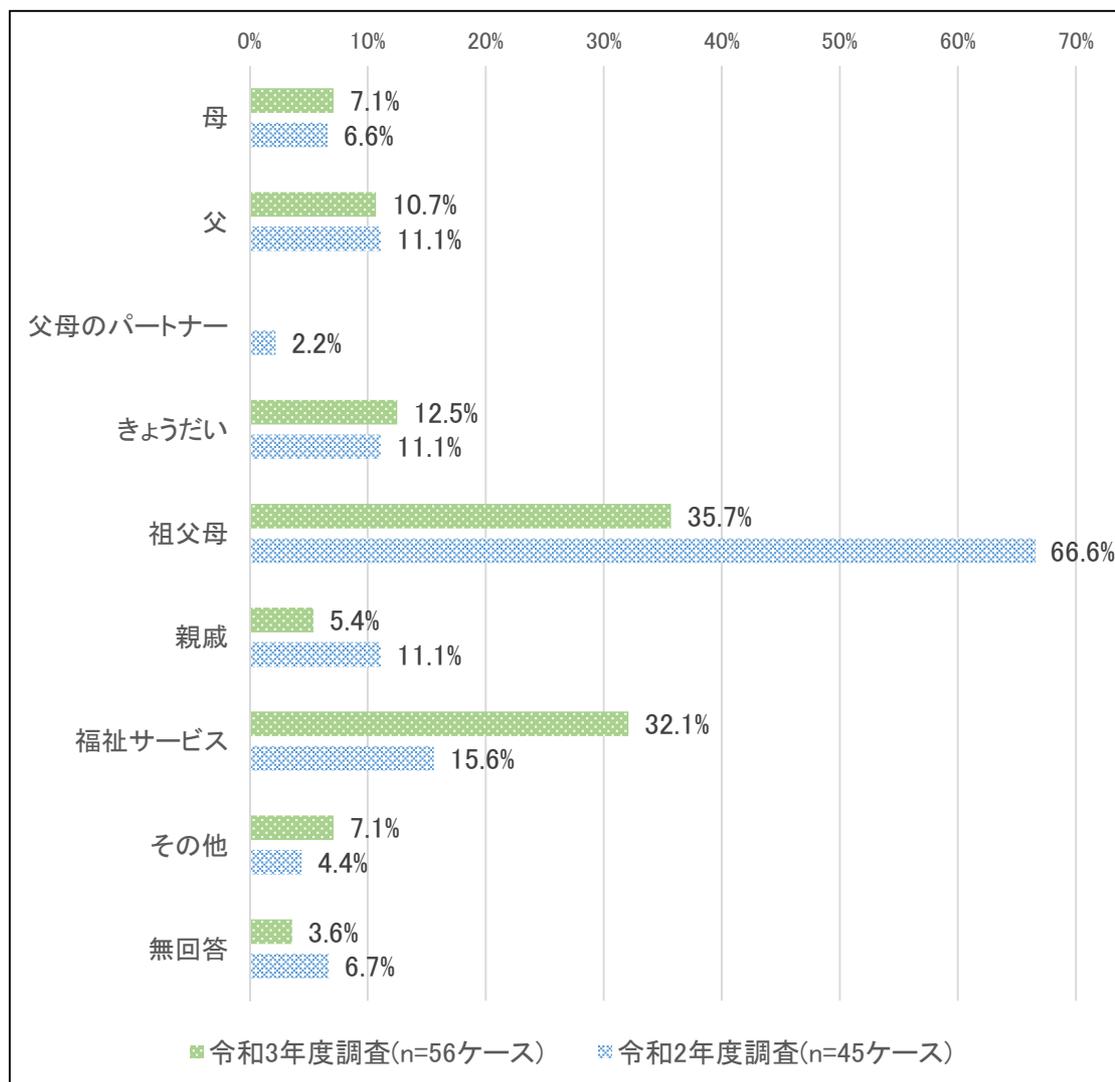
（令和3年度調査、複数回答）（単位：％）

	要支援・要介護	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	依存症	幼い	その他	障がい等なし	要支援・障がい等なし
全体(n=163)	0.6	11.0	13.5	27.6	16.6	4.9	51.5	8.6	22.1	
母(n=63)		3.2	9.5	58.7	12.7	12.7		9.5	15.9	
父(n=15)		20.0	13.3	40.0				26.7	20.0	
きょうだい(n=126)	0.8	9.5	12.7	1.6	16.7		64.3	4.0	20.6	
祖母(n=4)		25.0		50.0				25.0		
祖父(n=1)										100.0
その他(n=5)							60.0		40.0	

(6) 1日におけるケアに費やす時間の平均

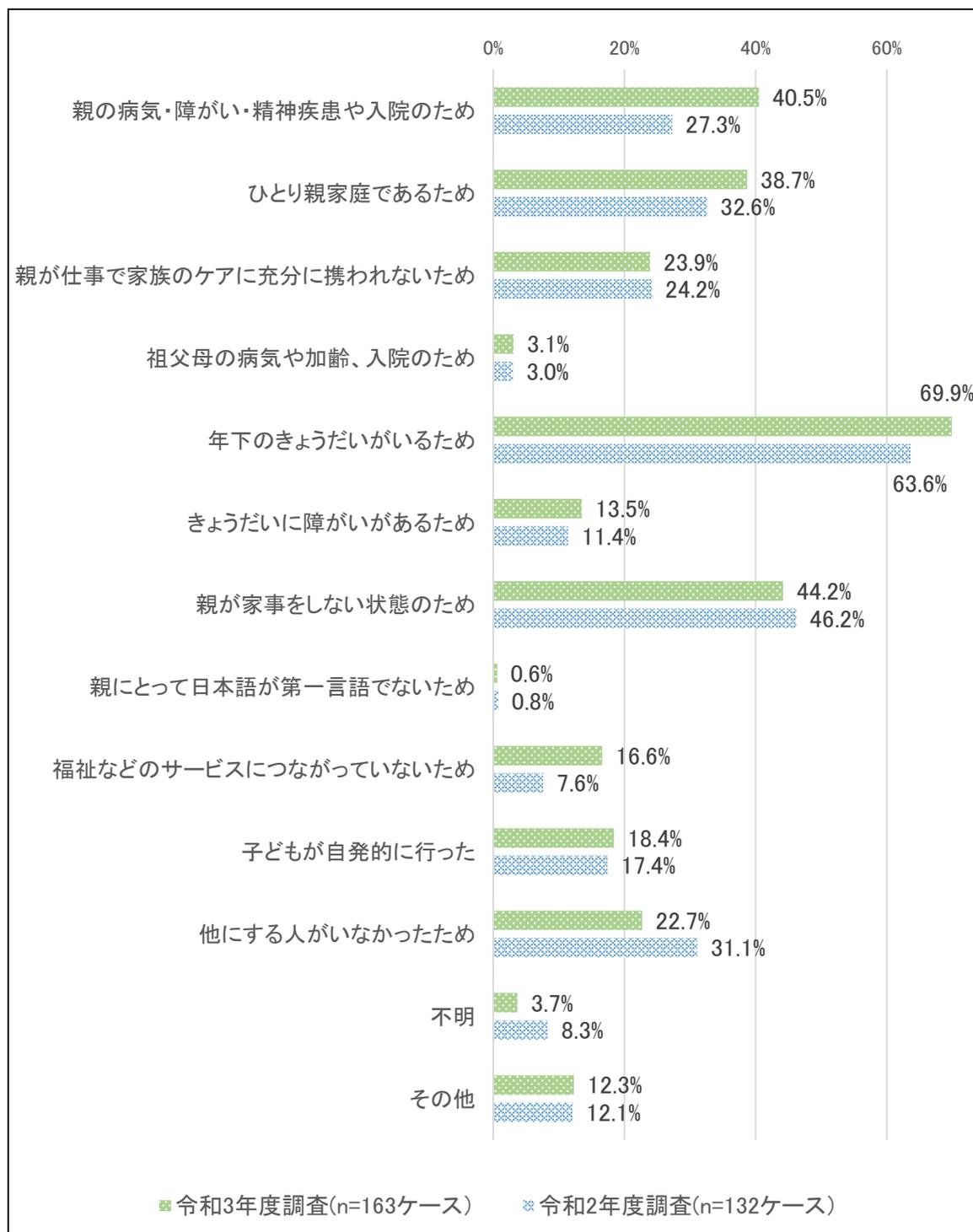


(7) 子どもが家庭で行っているケアを支援する人



その他の主な内容：父母や祖父母の知人

(8) ケアをすることになった理由（複数回答）



その他の主な内容：親の養育力不足、親がヤングケアラーという問題を認識していない